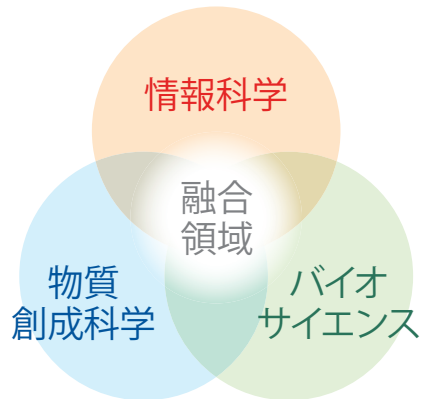


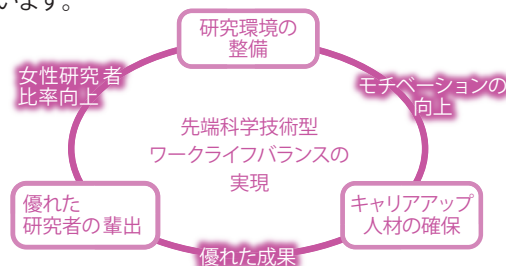
先端科学技術型ワークライフバランスの実現

奈良先端科学技術大学院大学は、大学院大学として、情報科学・バイオサイエンス・物質創成科学の重点三分野とその融合領域の先端科学技術の研究を推進するとともに、その成果に基づく高度大学院教育により、我が国の「科学技術創造国」を担う優れた人材を養成し、科学技術の進歩と社会の発展に寄与することを目的としています。



奈良先端大の推進する先端科学技術分野

本学は、平成21年9月1日に男女共同参画室を設置し、学長のリーダーシップのもと、参画室を中心にして、意欲と能力ある女性教員/研究者が独創的でイノベティブな研究成果の創出と国際競争力の向上に貢献できるよう、アカデミックアシスタント(研究支援員)の戦略的配置、プラスα保育、在宅研究教育支援システム、並びに地域女性研究者ネットワーク構築などにより、女性特有の様々な障壁や負荷を軽減し、「仕事と生活の調和(先端科学技術型ワークライフバランス)」の良い研究環境の整備やシステム改革を行い、本学的女性研究者の増員と活躍促進とともに男女共同参画社会の実現に向けて全学を挙げて取り組んでいます。



研究者のワークライフバランスを支援する、3つの項目

1) 全学的な男女共同参画支援

●女性研究者採用支援システム

優秀な女性教員の採用促進を図るため、新規女性教員のインセンティブとしてスタートアップ研究費を配分しています。

●曼荼羅atホーム/先端科学技術型ワークライフバランス

妊娠中の研究者が放射線・化学薬品を使用する実験指導、実験結果の観測を遠隔で行う遠隔実験支援システムを導入し、在宅のまま研究等に携わることができるコビキタス研究教育用ネットワーク環境を用意しています。

2) 女性研究者支援

●アカデミックアシスタント(研究支援員)の配置

妊娠・出産・育児期的女性研究者に対してアカデミックアシスタント(研究支援員)を配置することにより、絶対的な時間不足を解消し、最先端研究と育児等との両立及び研究成果の向上を目的としています。

●プラスα保育

プラスα学内保育(通常の保育時間外等)のための一時託児室「託児室せんたん」を開設。研究で夜遅くなった場合など、仕事を抜けられないときに利用できます。さらに、出張時保育支援を実施しています。

●一時託児サービス

オープンキャンパスやサイエンスフェスティバル等、大学主催のイベントで、主に教職員を対象に、一時託児サービスを行います。また、各研究科が主催するシンポジウム開催時にも、各研究科と協力・連携し、一時託児サービスを行います。



3) 意識啓発・情報支援

●けいはんな女性研究者ネットワーク

けいはんな地区の研究機関で働く、または住んでいる女性研究者(技術者・研究中断者・女子学生含む)間での交流の機会を提供するため「けいはんな女性研究者ネットワーク」を立ち上げました。情報交換、精神的支え、ロールモデルの提示などを目的として、「ワークライフバランス」のために役に立つネットワークを目指しています。

●ワークライフバランス(WLB) 相談窓口

育児と研究の両立といったワークライフバランスに関する様々な相談・問い合わせを一元的に受け付ける相談窓口を開設しています。メンター制度も導入。また、本学に設置されたその他の相談窓口とも連携し、解決方法を探します。

●セミナー等の開催

学外から講師を招き、学内構成員を対象とした男女共同参画に関わるセミナー等を開催し、学内外での意識啓発に取り組んでいます。

●ホームページでの情報提供

リアルタイムに参画室の活動を伝えています。その他、奈良先端大での男女共同参画の考えや歩み、研究助成・育児と研究両立のための支援情報などを載せています。

●各種出版物の発行

奈良先端大または奈良先端大出身者で、現役の研究者の声を集めた理系研究者ロールモデル集を発行しています。その他の発行物として、ニュースレターなどがあります。